

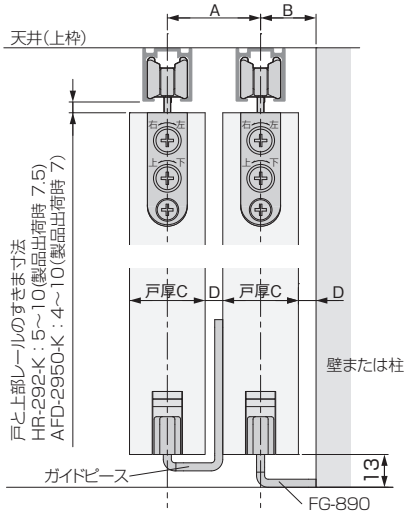
使用条件

本文322ページをご参照ください。

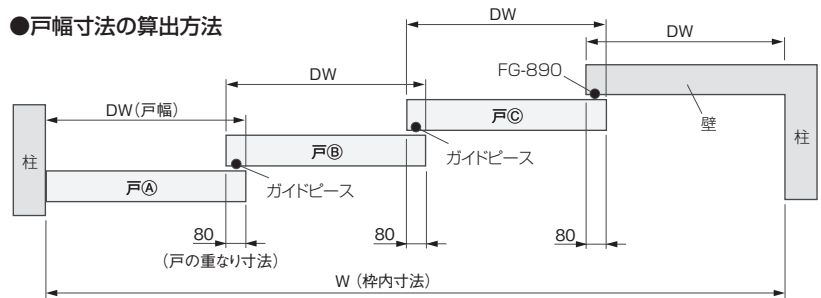
設計ガイド

■金具の納まり参考図

●上下および側面の納まり寸法



●戸幅寸法の算出方法



※戸の重なり寸法は、引戸を連動させるために必要な寸法です。

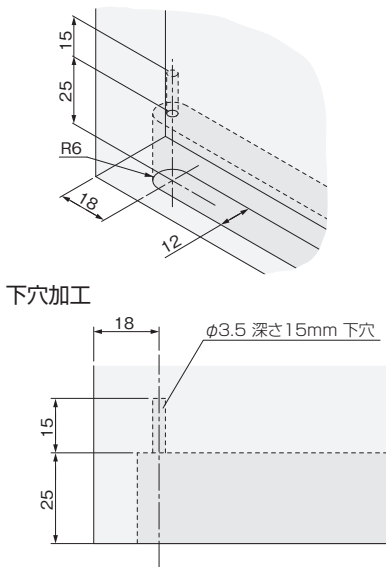
$$\text{戸幅 DW} = \frac{\text{枠内寸法 W} + (\text{戸の枚数} \times 80)}{\text{戸の枚数} + 1}$$

ガイドピース	A	B	戸厚C	D	F
FG-880	37	22	30	7	(20.5)
FG-880-24	39	24	30	9	(22.5)
	40	23.5	33	7	(22.0)
	42	24	36	6	(22.5)

ご注意

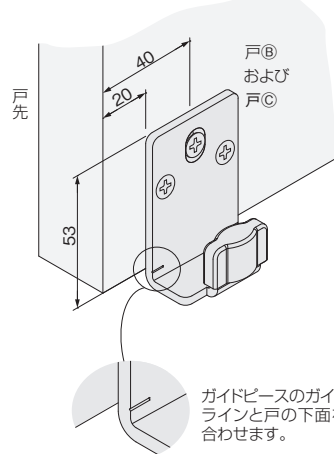
- 正常に引戸を連動させるために、床と戸の間隙は13mmになるようにしてください。
- 吊り車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。また、FG-890と戸が接触しないようにしてください。
- 幅1に対する高さの比率が5を超える引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

■戸下面の加工寸法図

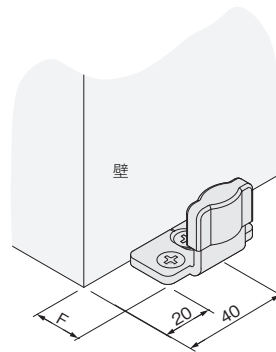


■金具の取付け位置

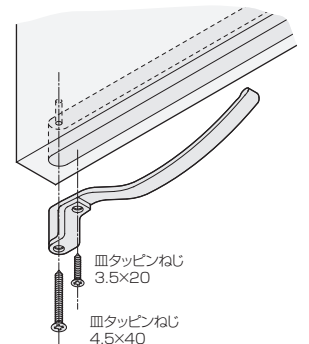
●ガイドピースの取付け (戸⑧と戸④の戸先側)



●FG-890の取付け



●FG-870の取付け



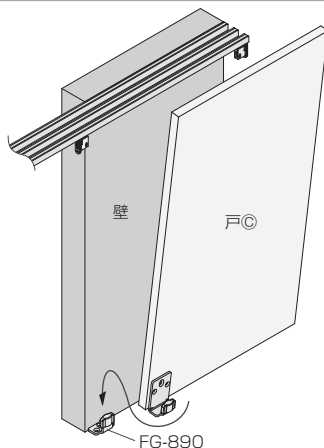
ご注意

手回しドライバーで取付けてください。締付けすぎると、変形します。また、FG-870の先端が浮き上がらないように取付けてください。

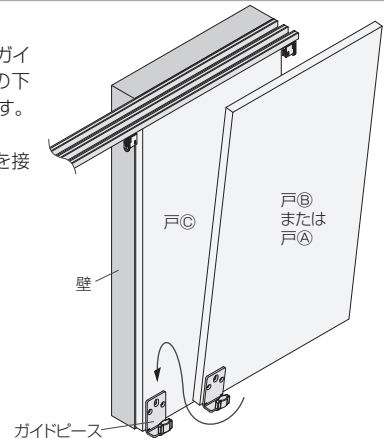
施工ガイド

■戸の吊込み

- ①戸④の下部溝をFG-890 (床付ガイド) に被せるように上部レールの下に設置します。
- ②戸とレール内の上部吊り車を接続します。



- ③戸④の先端に取付けてあるガイドピースに戸⑧または戸④の下部溝を被せるように設置します。
- ④戸とレール内の上部吊り車を接続します。



- ドア錠 1
- 丁番 2
- スライド丁番 3
- 開き戸金具 4
- 引戸錠 5
- 引戸金具 6
- 上吊式引戸金具 7
- 移動間仕切金具 8
- 折戸金具 9
- 室内用アルミ建具 10
- 取手・引手 11
- スライドレールワイヤーバスケット 12
- 収納・吊金具 13
- その他の家具金物 14
- 物干金具・語金具 15
- 真鍮アンティーク 16
- 設計施工ガイド
- 会社案内